

資料3 府環境基本計画進捗状況（施策推進の数値目標・数値的目安）

分野	項目	目標値	目標設定時	現状値
(府民意識)	○府民の周辺環境に対する満足度の確保		府民意識調査結果(満足度) H8. 10実施	府民意識調査結果(満足度) H8. 10実施
	① 空気のきれいさ	60%以上	52%	52%
	② 身近な自然の豊かさ・ふれあい	60%以上	48%	48%
	③ 歴史的環境の豊かさ・ふれあい	60%以上	47%	47%
	④ まちの静けさ	60%以上	46%	46%
	⑤ まちの清潔さ	50%以上	34%	34%
	⑥ まちなみの美しさ	50%以上	29%	29%
	⑦ 川や海のきれいさ	50%以上	23%	23%
すべての日常生活・事業活動における地球環境の保全	○日常生活等での府民の環境への配慮行動の実行率		地球環境問題に関する府民意識調査結果(実行度) (常に実行している) H8. 11実施	地球環境問題に関する府民意識調査結果(実行度) (常に実行している) H8. 11実施
	① 炊事や洗面では水の流しっぱなしをしない	80%以上	58%	58%
	② 新聞、牛乳パック等のリサイクルに取り組む	80%以上	55%	55%
	③ テレビや照明をこまめに消す	80%以上	48%	48%
	④ 消費電力の少ない商品を選ぶ	80%以上	40%	40%
	⑤ なるべく歩いたり自転車や公共交通機関を利用する	80%以上	39%	39%
	⑥ トイレトペーパーなど再生紙の商品を利用する	40%以上	24%	24%
	⑦ 地域環境美化活動に参加する	40%以上	13%	13%
	⑧ 買い物袋を持参したり、過剰な包装・袋を断る	40%以上	11%	11%
	⑨ 学校や家庭で環境問題について話し合う	40%以上	6%	6%
	○京都エコクラブの会員数	10万人	約1.1万人 (10年6月末)	約1.4万人 (18年1月末)
○ISO14001認証取得事業所数	300事業所	26事業所 (10年7月末)	425事業所 (20年1月末)	
自然と人間の共生の確保 歴史的・文化的環境の保全	○府自然環境保全地域及び歴史的な自然環境保全地域	600ha	府自然環境保全地域 -地域 -ha 歴史的な自然環境保全地域 10地域 297.83ha (9年度末)	府自然環境保全地域 2地域 221.87ha 歴史的な自然環境保全地域 10地域 297.83ha (16年度末)
	○淀川上流域 森林蓄積(材積)	約26百万m ³	約24百万m ³ (9年度末)	約35百万m ³ (20年度末)
	○由良川上流域 森林蓄積(材積)	約40百万m ³	約33百万m ³ (7年度末)	約36百万m ³ (20年度末)
	○保安林面積(国有林を除く)指定面積	約9万8千ha	約8万9千ha (7年度末)	約10万3千ha (20年度末)
	○鳥獣保護区面積	約3万ha	約2万9千ha (18年度末)	約2万9千ha (20年度末)

項 目	目標値	目標設定時	現 状 値
○大気汚染に係る環境基準の達成率			
・二酸化窒素	100%	92.1% (9年度)	100% (20年度)
・浮遊粒子状物質	100%	83.3% (9年度)	100% (20年度)
・二酸化硫黄	100%	96.8% (9年度)	100% (20年度)
・一酸化炭素	100%	100% (9年度)	100% (20年度)
○低公害車導入台数 (電気・メタノール・天然ガス・ハイブリッド)	5万台	142台 (9年度末)	10,273台 (20年度末)
○公共用水域及び地下水の水質汚濁に係る環境基準の達成率 (公共用水域)			
健康保護項目			
・河川	100%	100% (9年度)	100% (20年度)
・海域	100%	100% (9年度)	100% (20年度)
生活環境項目			
・BOD(河川)	100%	87.8% (9年度)	100% (20年度)
・COD(海域)	100%	71.4% (9年度)	0% (20年度)
・全窒素及び全リン(海域)	100%	40.0% (9年度)	20.0% (20年度)
(地下水)			
概況調査	100%	100% (9年度)	100% (20年度)
汚染井戸周辺地区調査	100%	97.4% (9年度)	100% (20年度)
定期モニタリング調査	100%	74.1% (9年度)	68.8% (20年度)
○水洗化普及率			
京都府水洗化総合計画2005	100%	89.2% (15年度末)	93.9% (20年度末)
○自動車騒音に係る要請限度の達成率	100%	53.8% (9年度)	96.6% (19年度)
○ごみ(一般廃棄物)処理量 (基準年:8年度)	15%削減	1,099千t/年 (8年度)	1,040千t/年 (18年度)
○新エネルギーの導入 22年度までに開発利用が可能と考えられる量	450万Gcal	25.2万Gcal (7年度末推計値)	183.3万Gcal (18年度末推計値)